

すべての人に賃上げを

05春闘・電機懇アンケート 生活から要求を決めよう

05春闘に向けて、今年も電機懇アンケートが取り組まれます。たたかう第一歩は要求を決めることです。今の賃金で人間らしいまともな生活はできているでしょうか。電機連合が計算した年間標準生計費（00年試算）は、35歳で756万円、50歳で932万円となつています。あなたの賃金がこれ以下なら、標準の生活に届いていないことになりません。

成果主義でもたたかう春闘を 基本給のアップを全員に

今年4月から日立に導入された成果主義賃金によって、昇給がゼロになった人が多くいます。また格付けによって賃金が決まるため、春闘が空洞化してしまう恐れがあります。しかし、たたかう方はいろいろです。基本給のテーブルを全体にアップさせ、調整給とは別に全員にアップ分を払わせることや、また賃金に見合った格付けを要求することも大切です。

パート・派遣の人の賃上げを 雇用安定と安心できる将来を

パートや派遣の人は労働組合もなく、賃上げを要求してくれる組織がありません。派遣とは本来、一時的な雇用を条件としており、同一職場で一定期間働いた場合は、派遣先企業が雇用する義務があります。雇用の安定と安心できる将来の確保のためにも、正社員と同等な労働条件を要求していきましょう。

地域の労働組合とも協力し

あきらめないで行動しよう

こうした要求を勝ち取るためには、職場から声を上げていくとともに、自分たちで行動することが必要です。地域の労働組合にも相談し、会社に対する要請行動や社会的宣伝など、多様な運動を進めましょう。

処遇制度 改悪とのたたかい

日立ビルシステム及関連企業本部 (建交労HBS)

処遇制度の改訂が、03年、第1に基準内賃金の割り振り変更で年功給圧縮・地域手当格差の拡大、第2として今年初めに職能給・年功要素の強い仕事給部分を発揮能力給・職務給に変更する提案がされました。

制度改訂の出発点が「総額人件費適正化」であることを考えれば、年功給の高い中高年層の賃金引下げとなり、また、発揮能力給については評価が恣意的に出来ること、現在の基本給の査定と合わせて、より大きな賃金格差が生まれることとなります。

組合は団体交渉で以上のような懸念を問いましたが、「評価は適正に行う、業務格差は出ないように評価する」との会社回答でした。組合は将来の闘いの事を考え、会社提案を拒否しました。8月の格付けを見ると、1名のみが1,200円の引上げ、その他の人達は最高14,300円、平均で8,000円のダウンでした。

04年冬一時金要求書の中に発揮能力給廃止を入れ、団体交渉で制度・評価への疑問をぶつけています。

他の日立関連企業でも同様のたたかいが起こっており、11月に日立空調システム（清水）の多田さんの要請行動に参加をし、改めて闘う決意を固めました。（森）

ビラや情報をホームページで見られます。

パソコン <http://www.hitachikon.net>

ケータイ <http://www.hitachikon.net/i>

仕事、生活などの相談も受け付けます。

Eメール info@hitachikon.net

TEL(携帯) 090-3534-8626(谷口)



日立懇

<発行>
2004年12月
第123号

日立関連労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20

(電機労働者懇談会気付)

TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595

もよりの連絡先

茨城 029-273-2785 (舞良)

茨城 0294-32-1048 (馬場)

東京 042-394-0937 (谷口)

神奈川 0465-48-5327 (中村)

静岡 0543-65-0433 (多田)

愛知 0561-54-6222 (成木)

大阪 06-6939-2905 (森)

近頃の若いモン

天災を見て思ったこと

今年は大震災による被害のニュースが多く、観測史上最大の台風上陸や中越地震など、大規模なものばかりでした。特に中越地震の被災者の方が、交通は分断されライフラインも途切れて大変な日々を送っている状況を見てみると、どうか頑張って生きて欲しいといつも思います。こういうニュースを見るたびに、生まれたばかりの我が子のために早く帰りたいけど、仕事で遅い日々が続いてかわいそうだな目にあわせていることを思うと、やっぱり少し世の中がかわいいなあと思います。これからの世代を担う子どもたちのためにも、少しでも良い世の中になるように努力していきたいですね。

投稿歓迎



いま輝く憲法9条【戦争の放棄】

福利制度の見直し・日立労組 会社の考え方と組合の見解が提示される

05年度福利制度の見直しについて会社の考え方と組合の見解が提示されました(日立労組機関紙NO877)。組合要求に対して、会社は「法定外福利費が重い負担である」として、慎重な態度を示しています。独身寮・社宅使用料の改訂、特急列車利用通勤の導入、単身者向け住宅手当の導入、カフェテリアプラン制度の充実についての見直し。また、「今後の雇用ポートフォ

リオのあり方」のテーマ。高齢者の活用、仕事と家庭の両立支援並びに女性の活躍支援について、多様な人材の活用、マクロ的な労働力需給構造等についても労使で議論します。

各種の福利厚生制度や働き方は、家族を含めた組合員の日常生活に直結する重要な労働条件です。05年春闘とあわせて注目していく必要があります。



「仕事を教えた自分も」 評価してほしい

来年4月から導入される予定のルネサス新処遇制度について、職場からは「新しい制度では相対評価になるというから、人に仕事を教えてその人が評価されるなら、教えた自分も評価してもらわないと割に合わない」との声も。市場での競争が激しく、新規開発や製品展開に追いつくために、職場ではお互いに協力し合って仕事をすることがこれまでも増して大切になっています。しかし、相対評価に基づく評価制度では、自分の評価を気にして、仲間同士が足を引っ張り合うことにもなりかねません。制度の改定をするのであれば、職場の意見をよく聞き、安心して仕事ができる制度を作ることが必要です。(ルネサス武蔵)

もっと大きいピラだったら「あと5万円」

日立工機では賃金の6%カットの即時撤回を求める職場新聞が門前配布されて一週間も



しない時期に、年末一時金に勤続10年以上で5万円プラスされる事が明らかになりました。職場では「要求もしないのに...ピラに書いてあるとおり会社はボロ儲けしてるんだ」「もっと大きなB4判だったら10万円は出たかも」「夏の6万円とプラスしても年間カット分の半分も戻ってこない」「増額支給もいけど早く賃金を元に戻すのが先だ」「組合はもっと強気で会社と交渉しなければ」などの話題がいつぱい出されています。(日立工機)

「広島で地」 頑張る仲間たち

三菱日立製鉄機械は、昨年4月に日立事業所を再統合し、東京本社と広島事業所に全面的に移管しました。茨城(日立)を離れて1年8ヶ月、このほど広島事業所で労務懇談会が開かれました。その中で統合の成果と問題点が見えてきました。予想をはるかに上回る受注ができた。大量の受注量を消化するために、三菱主流の生産方式を採ったので日立出身者には戸惑いがある。若手から、「上長と職場でも寮でも一緒ではプラ

東電、サービス残業14億円

～職場からの告発で支払いへ～



東京電力は18日、本店(東京都千代田区)の労働者約3千2百人のうち、9割近い2千8百人に総額14億4千万円(1人平均51万円)のサービス残業(不払い残業)があった

と発表しました。02年7月から04年6月までの2年分を11月分給与で精算するとしています。

東電では、職場労働者有志が中部電力や中国電力での是正の具体例も示して労働組合にたいし、サービス残業の実態調査と是正にとりくむよう申し入れ、今年6月の株主総会でも全労働者を対象にした調査と是正を求め質問しました。

本店以外の全社(労働者数約3万5千8百人)でも来年3月までに調査をおこなうとしています。職場からの告発が決め手です。

一人一人の 「仕事と生活に保証を」

イバシーもなくリラックスできないので、別な寮への移動など改善して欲しい」との声があり、会社側が検討を約束した。大量の受注量消化に奮闘した従業員に報いるために、期末表彰制度を利用した成果配分を実施した、など。(三菱日立製鉄機械)

11月1日付けで組合員も、日立協和エンジニアリングへ転属になり、1ヶ月が過ぎました。ほとんどの人が、やむなく転属を余儀なくされました。「日専校で日立の会社をやめられないよう誓約書を書かされたのにナァ」という声も。転属対象者の内、2名が転属を拒否しました。転属したとたん、なれない職場へ移った人もいます。今後は、一人一人の仕事と生活を保証するために、会社も組合も責任を持って対処してもらいたい。(旧素形材)旧勝田



工場が日立事業所から借用していたグラウンドを返却し、日立事業所がそこに10万KVAの火力発電所を建設する、と発表しました。発電した電気は東電に販売することです。すでに1基が稼働中であり、夕方になると煙がでて「環境に影響ないのか」などの声がでてきます。「なぜ、2基も造るのか」「10万KVAといったら相当大きな発電機だ」という声も。11月に周辺地域にたいする「発電所建設」の説明会も実施されましたが、環境への影響が心配です。(情報)

「新札出た」が 現場の仕事は...

昨年夏から、新札特需ともいふべき超多忙な生産職場で、

派遣・請負社員でこた返していた職場が閑散としています。11月に新札が発行され、トラブル対応用の出張要員も配置されていましたが、幸い大きなトラブルは今のところ起こっていません。新札発行前の出荷の反動か、ほとんど生産はなく、忙しいのは設計と不良対策だけ。派遣・請負社員の人はピーク時の約3割ほど。結局、派遣・請負制度は、忙しいときはこき使い、暇になつたら首とは、本当にひどい制度です。(情報器)旧旭

工場敷地内に 「火力発電所建設」

工場が日立事業所から借用していたグラウンドを返却し、日立事業所がそこに10万KVAの火力発電所を建設する、と発表しました。発電した電気は東電に販売することです。すでに1基が稼働中であり、夕方になると煙がでて「環境に影響ないのか」などの声がでてきます。「なぜ、2基も造るのか」「10万KVAといったら相当大きな発電機だ」という声も。11月に周辺地域にたいする「発電所建設」の説明会も実施されましたが、環境への影響が心配です。(情報)

